



学校運営にかかわる１２の項目について夏休み前までの取組についてまとめました。

毎月の学校だより・学年だよりに記載したものを抜粋しました。学校評価のアンケートの参考にさせていただけたらと思います。

学習指導・教育課程

- ①基礎・基本の確実な習得と活用する力・互いに高めあう子どもの育成
- ②個に合わせた支援の充実
- ③防災教育の充実 ④情報教育の充実 ⑤健康・運動する子ども
- ⑥地域に愛着をもてるような教育活動

安全・安心な環境

- ⑪危機管理・施設の整備

特別活動

- ⑦主体的に取り組む気持ち、自己有用感の育成

保護者・地域との連携

- ⑫学校評価を生かした教育の改善・情報発信

児童支援

- ⑧一人ひとりが命の重さや価値を実感し、他者を思いやる気持ちをもつ
- ⑨共生・共育の実施、コミュニケーション能力の育成、いじめを許さない学校風土
- ⑩皆が気持ちよく過ごせるための規範意識の育成

学校評価に関わる 12 の項目

SHIMOSAKUNOBE PRIDE



5月号

学校評価に関わる 12 の項目

- ⑦自主的に取り組む気持ち、自己有用感の育成
- ⑩皆が気持ちよく過ごせるための規範意識の育成

5年生の学年目標は「三輪車」に決まり、一人一人が成長できる1年間を送って行きます。

学年開きでは、5年生としての約束や決まりなどを確認し、校庭で仲間づくりのゲームを行いました。生き生きとした姿がたくさん見られました。



学校評価に関わる 12 の項目

- ⑦自主的に取り組む気持ち、自己有用感の育成

～1年生を迎える会～

4月24日（金）に1年生を迎える会が行われました。お兄さん、お姉さんの教室と一緒にゲームを楽しみました。1年生の顔からは緊張が消えて、キラキラした笑顔があふれていました。

「また一緒に遊びたい」という声もたくさん聞こえてきました。これからも学校中の友達や先生と関わりながら、毎日を笑顔で楽しく過ごしてほしいと願っています。



これまでの取組について学校だより・学年だよりに掲載しているものを抜粋しました。

避難訓練については、より実際の状況を想定した訓練を行い、「自分の命は自分で守る」を合言葉に、より自主的な避難行動ができるよう取り組みます。まずは、4月に地震・火事想定での避難訓練を行いました。放送を聞き、指定された避難経路を使って、迅速に避難することができました。今後は、この避難訓練を生かした、より実践的な予告なしの抜き打ち避難訓練も行う予定です。

教室から校庭への避難の様子



校庭への避難の様子



③防犯・防災教育の充実

今月の2年生の様子～1年生を迎える会～

4月24（金）に1年生を迎える会を行いました。1年生のために、クラスごとにできることを考えて出し物を披露しました。自分たちが楽しむことを一番考えるのではなく1年生が喜ぶ内容を考えて準備を行いました。その姿に2年生としての意識が高まっているように感じられました。



★4月の6年生は・・・★

新しい1年が始まり、学年集会を開きました。小学校生活最後の1年をどのように過ごしたいか、最高学年としてどんな姿を目指していくかを考え、学年目標をみんなで決めました。

今年度の学年目標は「輝」。一人一人、なりたい自分を目指し、何事にも全力取り組んでいこうと意識を高めていました。



登下校時や、休み時間、給食時には、1年生の教室に行き、準備、片付けなど、優しく丁寧に教えています。1年生からも慕われ、教室は楽しそうな笑顔が溢れています。



- ⑦自主的に取り組む気持ち、自己有用感の育成
- ⑩皆が気持ちよく過ごせるための規範意識の育成

- ⑦自主的に取り組む気持ち、自己有用感の育成

学校評価に関わる 12 の項目

- ⑦自主的に取り組む気持ち、自己有用感の育成

「平瀬川をこいのぼりでいっぱいにしよう！」プロジェクトで各クラスで5mのこいのぼりに色を塗りました。思い思いの色を選び楽しんで活動しましたので、ぜひご覧ください。



学校評価に関わる 12 の項目

学校評価に関わる12の項目

⑨共生＊教育の実施、コミュニケーション力の育成、いじめを許さない学校風土



支援教育コーディネーターを中心に、児童の心に寄り添ったチーム支援を行います。
学年・クラス・児童の実態を踏まえて、どのような支援が必要なのかを話し合っています。一度ではなく、チーム支援について何度も話し合いを重ね、よりよい方向性を導き出すことができるようにしています。

⑥地域に愛着をもてるような教育活動

郷土的な学習の時間では、地域の公園へ出かけました。実際に現地に行き、自分たちの目で見て感じ考えることで、地域の自然環境の現状について多くの気づきが生まれました。
自然環境について考える学習は、地域と向き合い、自分たちができることを考え続けることに大きな意味があります。ここから子どもたちがどのような視点を持ち、どんな行動につなげていくのかとても楽しみです。



⑦自主的に取り組む気持ち、自己有用感の育成

1か月後に控えた自然教室に向けて、学年集会を行いました。「自分たちの自然教室を、自分たちの手でつくる」という思いを共有する時間となりました。



5/27(水)の組合にて、支援教育コーディネーター「ひとりひとりを大切にする下作延小学校をつくろう！」をテーマに全校児童に向けて話をしました。暴力や脅迫だけでなく、人によって態度を変えたり、ネット上で悪口を書き込んだりすることもいじめになることを伝えました。いじめを許さない学校風土をつくりあげていくために、今後も指導を続けます。



⑦自主的に取り組む気持ち、自己有用感の育成

5月10日に学年で「体育フェスティバル ～全員リレー～」を行いました。学年目標である「わ」を目指していくための取り組み第1弾！もちろん勝敗にこだわりたいところではありますが、それよりもクラスで協力していくこと、声をかけ合うこと、助け合うことを目標に取り組みました。どの子も本気で走り、その姿を見て一生懸命応援したり、喜び合ったり、悔しがったり。子どもたちのとてもよい表情を見ることができた時間でした。これからも学習と結び付けて学年目標に近づくために、様々な取り組みをしていきたいと思います。

これまでの取組について学校だより・学年だよりに掲載しているものを抜粋しました。

⑩皆が気持ちよく過ごせるための規範意識の育成

全校ミーティングで児童自身が気持ちよく過ごすことができる学校生活のルール作りについて考える機会を設けます。



「学校生活をより楽しく安全に過ごすには」をテーマに全校で話し合いました。
廊下の歩行について話題になったり、外で元気いっぱい走り回り、他学年と交流したり...など様々な意見が出されました。
テーマに向けて、児童自身が考え、活発に意見交流している姿が見られました。

1組



2組



3組





⑧一人ひとりが命の重さや価値を実感し、他者を思いやる気持ちをもつ

学校評価に関わる12の項目
理科の「植物を育てよう」では、ホウセンカを育てています。また、生き物を育てる係も活動しています。命の大切さを学ぶ機会も増え、子ども達がいきいき過ごしています。

1組



2組



3組













学校評価に関わる12の項目 ①基礎基本の確実な習得と活用する力・互いに認め合う子どもの育成

- クラスの様子
- 1組・・・生活「がっこうだいすき」では、先生にインタビューした結果を、クラスに報告しました。自分たちで質問を考え、「学校には、色々なお仕事があるんだね。」と気付くことができました。
- 2組・・・国語「はなのみち」では、とうじょうじんぶつのきもちやようすを考えました。実際にくまさんやリスさんの気持ちになって音読をしたり、動作化したりして、くまさんやリスさんの気持ちを考えることができました。
- 3組・・・図工「ねんどでごちそうなにつくろう」では、ねんどでピザ、そば、ケーキなどを楽しみながら作りました。「ちぎったり、こねこねしたり、丸めたりしたらどんなごちそうさができるかな？」と考えながら、子どもたちは想像を膨らませてねんどでごちそうを作りました。

★5月の6年生(都内見学)★
5月26日は、都内見学で国会議事堂と江戸東京博物館に行きました。国会の赤じゅうたんを歩き、教材で見ていた本会議場を目の当たりにすると、「ここで法律が決まるんだね」と、授業で学んだ知識を現実のものとして実感する様子が見られました。また、江戸東京博物館では、初めて見る昔の建物や道具に興味津々な眼差しで、歴史への興味を膨らませていました。







⑦自主的に取り組む気持ち、自己有用感の育成 ⑩皆が気持ちよく過ごせるための規範意識の育成

学校評価に関わる 12 の項目

これまでの取組について学校だより・学年だよりに掲載しているものを抜粋しました。

⑤健康教育・運動する子ども

6月9日（火）に高学年を対象に「心と体にたいせつなすいみん」をテーマとした拡大学校保健員会が開かれました。睡眠時間が少ない子が増えているという話を聞き、子どもたちも自分たちの睡眠について考えることができました。ご家庭でも話題にしていいただけたらと思います。



先生たちも役になりきって紙芝居に参加しました！

学校評価にかかわる12の項目

⑨共生＊教育の実施、コミュニケーション力の育成、いじめを許さない学校風土

児童一人一人の学校生活の実態や内面を把握するために、全校児童に向けて「学校生活アンケート」を行いました。アンケートの回答をもとに担任と児童で対話を行いました。児童の不安やSOSを素早くキャッチし、未然防止や早期解消に努めています。児童のために、今後も学校・家庭と連携していきたいと考えています。何かありましたら早めに学校にお知らせいただけますと助かります。

学校評価にかかわる12の項目

③防犯・防災教育の充実

「防犯訓練の想定ややり方を工夫し、自分の身を守るための指導を行います。」の項目を受けて、7/9（木）に防犯訓練を行いました。本校は防犯上、正門・駅門ともに電子錠をかけると共にIDをつけずに校内にいる方には声かけを実施しています。

今回は、不審者が校内に侵入をしてきたことを想定した訓練を行いました。あつてはならないことですが、この想定のもと、自分たちで身を守る方法を指導しました。隠語を使い、不審者を発見した場合は全校放送をし、子どもたちは教室の扉から離れたところにしゃがみます。教員は入り口にバリケードを作り、電気を消し、カーテンを閉めます。今後とも、実践的な訓練を計画・実施していきたいと思います。保護者の皆様も子ども達の安心・安全を守るため、来校する際にはIDカードの着用をお願いします。

教室の扉から離れたところにしゃがむ様子



教室の出入り口にバリケードを作った様子



⑥地域に愛着をもてるような教育活動⑦自主的に取り組む気持ち、自己有用感の育成

総合的な学習の時間「下作環境レンジャー」では、緑ヶ丘霊園にてフィールドビンゴを実施しました。自然に触れ合う貴重な経験となりました。今後はこの学びを活かし、地域の環境保全について探究を深めていきます。



⑦自主的に取り組む気持ち、自己有用感の育成

SHIMOSAKUNOBE PRIDE

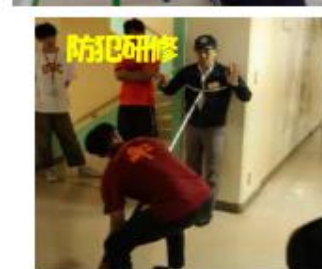
夏休み号

7月号



⑪安心・安全な環境

心肺蘇生法・AED やアレルギー熱中症防止等の研修を行います。教育委員会と協働し、学校施設整備環境に努めます。



の救急看護認定看護師さ招き、心肺蘇生法・AEDを行いました。プールでの溺水やグラウンドで急に倒れたことなどを想定して研修を行いました。

また、高津警察署の方を講師に招き、学校に不審者が入って来た時の対応について学びました。

どちらも起きてはならないことではありますが、万事に備えて、日々研修をしています。防犯研修を生かして、7月には学校でも防犯訓練を実施します。



各階の3組側にエレベーターが完成しました。通常は使用することはできませんが、怪我をしてしまった時等は使用することができます。その際は担任までお知らせください。

学校評価に関わる12の項目

5月29日に川崎区に校外学習に行ってきた。しおりを作ったり、はじめの会などを進行するなど実行委員が活躍をしたりしました。活躍を見た周りの子ども達も「自分たちで作るのが楽しそう」「自分たちにもできそう。」という刺激を受けました。校外学習の経験を活かし、グループごとに興味のある川崎市内の区について主体的な調べ学習を行っています。それぞれが自分の得意な役割を見つけ、グループ活動を行っています。



⑦自主的に取り組む気持ち、自己有用感の育成

⑧一人ひとりが命の重さや価値を実感し、他者を思いやる気持ちをもつ

⑨共生＊教育の実施、コミュニケーション力の育成、いじめを許さない 学校風土

⑩皆が気持ちよく過ごせるための規範意識の育成

自然教室では、氷穴見学や、まかいの牧場での体験、キャンプファイヤー、ほうとう作りなど、充実した3日間を過ごすことができました。仲間と支え合い、自分で考え協力して行動する姿に、子どもたちの大きな成長を感じています。この経験を今後の学校生活に生かしていきます。保護者の皆様には事前の準備から体調管理まで多大なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。



⑥地域に愛着をもてるような教育活動

6月10日・14日で町探検を行いました。下作延の町にある施設や人など熱心にメモをとって意欲的に取り組む事が出来ました。



学校評価に関わる12の項目

⑦自主的に取り組む気持ち、自己有用感の育成